# あんしん設定

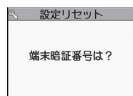
# FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほか、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。
用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

## 各種暗証番号に関するご注意

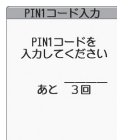
- 設定する暗証番号は、「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

**■端末暗証番号**
端末暗証番号とは、各種端末操作用の暗証番号です。お買い上げ時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.127
端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、■［確定］を押します。
- 端末暗証番号入力時はディスプレイに「_」で表示され、数字は表示されません。
- 間違った端末暗証番号を入力した場合や、約15秒間何も入力しなかった場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されます。

設定リセット
端末暗証番号は？

**■ネットワーク暗証番号**
ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なお、ｉモードからは、i▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「ネットワーク暗証番号変更」で変更できます。
※「My docomo」「お客様サポート」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

**■ｉモードパスワード**
マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります（このほかにも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。
ｉモードパスワードは、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様自身で番号を変更できます。
ｉモードから変更される場合は、i▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「ｉモードパスワード変更」から変更できます。

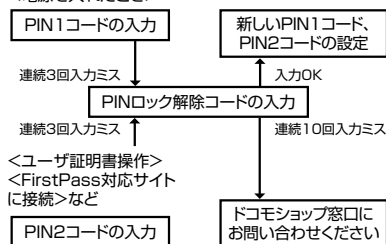
**■PIN1コード・PIN2コード**
ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.127
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コード入力設定を「ON」にした場合、PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。PIN2コードは、積算料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。
※ 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PIN1コードまたはPIN2コードの入力画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力し、■［確定］を押します。

例：PIN1コード

- 入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。
- 3回連続して誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります（入力可能な残りの回数が画面に表示されます）。正しいPIN1コード／PIN2コードを入力すると入力可能な回数が3回に戻ります。

**■PINロック解除コード**

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、ドコモUIMカードがロックされます。

## 端末暗証番号を変更する

端末暗証番号変更

**1** MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「端末暗証番号変更」▶現在の端末暗証番号を入力▶新しい4～8桁の端末暗証番号を入力▶「YES」

## PINコードを設定する

UIM（FOMA）カード設定

ドコモUIMカードのPIN1コード、PIN2コードを設定します。PIN1コード・PIN2コードについて→P.126

- PIN1コード、PIN2コード、およびPIN1コード入力設定はドコモUIMカードに記憶されます。
- PIN1コードを変更する場合は、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておいてください。

**1** MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「UIM（FOMA）カード設定」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

**PIN1コード変更**…現在のPIN1コード（4～8桁）を入力後、新しいPIN1コードを2回（うち1回は確認のため）入力します。

**PIN2コード変更**…現在のPIN2コード（4～8桁）を入力後、新しいPIN2コードを2回（うち1回は確認のため）入力します。

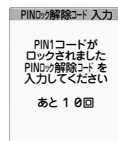
**PIN1コード入力設定**…電源を入れたときにPIN1コードを入力するかどうか（ON、OFF）を設定します。

## PINロックを解除する

PIN1コード、PIN2コードの入力を続けて3回誤った場合は、PIN1コード、PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード、PIN2コードを設定する必要があります。

<例：PIN1コードのロックを解除する場合>

**1** 8桁のPINロック解除コードを入力

PINﾛｯｸ解除ｺｰﾄﾞ 入力
PIN1コードが
ロックされました
PINﾛｯｸ解除ｺｰﾄﾞを
入力してください
あと 10回

**2** 4～8桁の新しいPIN1コードを入力▶新しい4～8桁のPIN1コードを再度入力

# ほかの人が使用できないようにする

ダイヤルロック／おまかせロック

ほかの人が使用できないようにロックを設定する方法は、FOMA端末を操作して行う「ダイヤルロック」と遠隔操作で行う「おまかせロック」があります。

- ダイヤルロック、おまかせロックは電源を切っても解除されません。

### ● ダイヤルロック／おまかせロック設定中に利用できる操作や機能

| 機　能 | ダイヤルロック | おまかせロック |
|---|---|---|
| 電源を入れる／切る | ○ | ○ |
| 緊急通報番号(110番、119番、118番)に電話をかける | ○ | × |
| ダイヤルロックを設定／解除する | ○ | × |
| おまかせロックを設定／解除する | ○ | ○ |
| 音声電話、テレビ電話の着信を受ける※ | ○ | ○ |
| ケータイデータお預かりサービスの更新を受ける | ○ | × |
| GPS機能の位置提供を行う(ドコモの「イマドコサーチ」などの位置提供サービスを利用した相手からの要求による位置提供) | ○ | ○ |

○：利用できます。×：利用できません。

※ 指定着信拒否／指定着信許可の設定にかかわらず着信します。
音声電話、テレビ電話を発信することはできません。また、公共モード（ドライブモード）設定中は、着信を受けることができません。

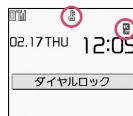
- ダイヤルロック／おまかせロックを設定すると、「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームは通知されません。ダイヤルロック／おまかせロックを解除後、「アラーム(未通知アラームあり)」「アラーム(未視聴予約あり)」「REC 終了(ワンセグ予約録画終了あり)」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- ダイヤルロック／おまかせロックを設定すると、デスクトップアイコンは表示されなくなります。ダイヤルロック／おまかせロック解除後、アイコンが再び表示されます。
- 電話帳に登録されている相手からの着信でもダイヤルロック／おまかせロック設定中は電話番号だけが表示されます。

## ダイヤルロックを設定する

「着信拒否設定」の「登録外着信拒否」を「拒否」に設定しているときは、ダイヤルロックを設定できません。ダイヤルロックを設定するときは「登録外着信拒否」を「許可」に設定してください。

**1 MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「ロック」▶端末暗証番号を入力▶「ダイヤルロック」**

### ● ダイヤルロック設定中の動作について

- ディスプレイに「ダイヤルロック」と「」「」が表示されます。同時にICカードロックも「ON」となり、ICカード機能も利用できなくなります。

- ダイヤルロック設定中にメッセージR／F、iモードメール、SMSの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。ダイヤルロック解除後、受信したことを示すアイコンが待受画面に表示されます。
  - エリアメールの自動受信と内容表示はできます。

## ダイヤルロックを解除する

- ダイヤルロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度電源を入れることはできます。

**1 ダイヤルロック設定中の画面で端末暗証番号を入力▶■**

ダイヤルロックが解除されて「」「」の表示が消えます。

**おしらせ**

◆ダイヤルロックを解除するときに、間違った端末暗証番号を入力してもエラーメッセージは表示されません。━を押し、再度正しい端末暗証番号を入力してください。

## おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。また、お申し込み時に圏外などでおまかせロックがかからなくても、1年以内に通信が可能になった場合、自動的にロックがかかります。ただし、解約・利用休止・電話番号変更・紛失時などで新しいドコモUIMカードの発行（番号を指定してロックした場合のみ）を行った場合は1年以内であっても自動的にロックはかかりません。お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

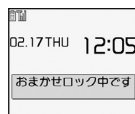
※ ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります（ただしご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります）。

※ おまかせロック中も「位置提供設定」の設定を「位置提供ON」（P.320）にしていれば、ケータイお探しサービスなどのGPS機能の位置提供要求に対応します。

| おまかせロックの設定／解除 |
|---|
| 0120-524-360 受付時間24時間（年中無休） |
| ※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。<br>※ パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。 |

※ おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（基本編）』をご覧ください。

### ● おまかせロック設定中の動作について

- ディスプレイに「おまかせロック中です」と表示します。

- おまかせロック設定中は、音声電話、テレビ電話の着信に対する応答と電源を入れる／切るの操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能（ICカードを含む）を使用することができなくなります。
- 音声電話、テレビ電話の着信は可能ですが、この場合、電話帳に登録されている名前、画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。
- おまかせロック設定中に受信したメールはｉモードセンターに保管されます。エリアメールは破棄されます。
- 電源を入れる／切ることはできますが、電源を切ってもおまかせロックは解除されません。
- ドコモUIMカードやmicroSDカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

**おしらせ**

◆ほかの機能が動作中の場合は、動作中の機能を終了してロックをかけます（編集中のデータがある場合は編集中のデータを破棄して終了することがあります）。

◆ほかのロック機能の設定中でも、おまかせロックをかけることができます。この場合、おまかせロックを解除すると、おまかせロック設定前のロック状態に戻ります（ただしシークレットモード／シークレット専用モードは解除されます）。

◆FOMA端末の圏外・電源OFF時・海外での使用時は、ロックおよびロック解除はできません。その他お客様の利用方法などにより、ロックおよび解除ができない場合があります。

◆「デュアルネットワークサービス」をご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックがかかりません。

◆ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。

◆おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のドコモUIMカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆おまかせロックを解除しようとしたときにFOMA端末が音声通話中またはテレビ電話中の場合は、通話終了後にロックが解除されます。

# 電話帳やスケジュールのデータを表示できないようにする

**シークレットモード／シークレット専用モード**

シークレットモードまたはシークレット専用モードで電話帳やメモ、スケジュールを登録すると、シークレットデータになり、通常のモードでは表示されなくなります。表示するときは、シークレットモード(シークレットデータも含めたすべてのデータを表示)か、シークレット専用モード(シークレットデータのみを表示)にします。

- ほかの人に見られたくない「マイピクチャ」や「i モーション」の各データを、シークレットフォルダに保管することもできます。→P.132

## シークレットモード／シークレット専用モードにする

**1** **MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「シークレット」▶「シークレットモード」または「シークレット専用モード」▶端末暗証番号を入力▶「YES」**

シークレットモードに設定すると「」が表示されます。

シークレット専用モードに設定すると「」が点滅表示され、シークレットデータ登録件数が約2秒間表示されます。

ほかのロック機能が同時に設定されているときのアイコンの表示について→P.30

### ● シークレットデータの登録・表示と、通常のデータへの戻しかた

- ドコモUIMカードにはシークレットデータとして電話帳を登録できません。

**■電話帳やスケジュールをシークレットデータとして登録するには**

シークレットモードまたはシークレット専用モードにして登録します。

電話帳の登録のしかた→P.91

スケジュールの登録のしかた→P.398

**■登録済みの電話帳をシークレットデータにするには**

電話帳詳細画面のサブメニューから「シークレット設定」を選択します。

※ 直デンに登録されている電話帳を、シークレットデータにすると、直デンから削除されます。

**■シークレットデータを表示するには**

シークレットモードまたはシークレット専用モードにし、電話帳やスケジュールを表示します。

電話帳の検索のしかた→P.93

スケジュールの確認のしかた→P.399

**■シークレットデータを通常のデータに戻すには**

シークレットモードまたはシークレット専用モードにしてから、電話帳詳細画面(P.94)、メモ一覧画面／詳細画面(P.416)、スケジュール一覧画面／詳細画面(P.399)を表示し、サブメニューから「シークレット解除」を選択します。

## シークレットデータとして登録した相手からの不在着信、新着メールを電池アイコンで通知する

シークレットデータとして登録した相手からの不在着信、新着メールがあるかどうかを電池アイコンで通知できるように設定します。

**1** **MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「シークレット」▶「シークレット通知設定」▶端末暗証番号を入力▶「通知する」または「通知しない」**

「通知する」に設定すると、シークレット対象の不在着信、新着メールがあるときに、電池アイコンが「」に変わります。

「」に設定されている場合、「」に変わります。

**おしらせ**

◆シークレットモードまたはシークレット専用モード中に、着信履歴(不在着信履歴)の一覧画面を表示したり、対象のメールを確認したりすると、元の電池アイコンに戻ります。

## シークレットデータとして登録した相手からの着信動作を設定する

通常のモードのときに、シークレットデータとして登録した相手から着信があった場合の着信動作を設定します。

**1** **MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「シークレット」▶「着信動作設定」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択**

**登録外着信の扱い**…電話帳に登録されていない相手からの着信として動作します。

**サイレント着信**…「マナーモード選択」の設定にかかわらず、着信音は鳴らずにバイブレータや着信イルミネーションも動作しません。

**おしらせ**

◆シークレットモードまたはシークレット専用モード中に、シークレットデータとして登録した相手から着信した場合は、本設定にかかわらず通常の着信動作と同じになります。

## シークレットモード／シークレット専用モードを解除する

**1 シークレットモード、シークレット専用モード中の待受画面で［ー］**

シークレットモード、シークレット専用モードが解除され、「S」の表示が消えます。ほかの機能が起動している場合は解除できません。
MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「シークレット」▶「シークレットモード」または「シークレット専用モード」でも解除できます。

**おしらせ**

◆シークレットモード中に、一覧画面でシークレットデータを反転したとき、またはシークレットデータを詳細表示したときは、点灯している「S」が点滅に変わります。
◆シークレットモード、シークレット専用モード中に入力した文字は予測候補に登録されません。
◆シークレットデータとして登録した「電話帳」や「スケジュール」は、シークレットモードおよびシークレット専用モードにしないと、呼び出し、修正、削除、参照ができません。また、「スケジュール」は通常のモードでもアラーム通知は行いますが、アラームメッセージは表示されません。
◆通常のモードでは、シークレットデータとして登録した相手が電話番号を通知して電話をかけてきた場合、登録されている名前や画像は表示されず電話番号が表示されます。なお「着信履歴」には表示されません。シークレットモードまたはシークレット専用モードにすると、「着信履歴」に表示されます。
◆シークレットデータとして登録した相手がメールを送ってきたときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードを解除していると、受信結果画面やデスクトップ上に「✉」「01」は表示されず、メールの着信音も鳴りません。
◆通常のモードでは、シークレットデータとして登録した相手からのメールアドレスは、「受信アドレス一覧」に表示されません。シークレットモードまたはシークレット専用モードにすると、「受信アドレス一覧」に表示されます。
◆シークレットデータとして登録した相手からのメールは、シークレットモードまたはシークレット専用モードを解除していると表示されません。また、シークレットデータとして登録した相手に送ったメールも同様です。
◆シークレットモード中に「電話帳」や「スケジュール」を修正した場合、修正したデータはシークレットデータになります。なお、電話帳を修正した場合は、修正したメモリ番号に登録されているすべての情報がシークレットデータになります。
◆「ダイヤルロック／おまかせロック」と「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を同時に設定している場合は、「ダイヤルロック／おまかせロック」を解除すると「シークレットモード」または「シークレット専用モード」も解除されます。
◆シークレットデータとして登録された電話帳を呼び出して電話をかけたりメールを送信した場合は、通常のモードに戻すと「リダイヤル」や「発信履歴」「送信アドレス一覧」には表示されません。シークレットモードまたはシークレット専用モードにすると表示されます。
◆シークレットデータとして登録した「電話帳」は、誕生日お知らせを行いません。

## 各種データを表示できないようにする

シークレットフォルダ

ほかの人に見られたくない画像、動画／ｉモーションの各データを、シークレットモードおよびシークレット専用モードでのみ表示されるシークレットフォルダに保管します。
- FOMA端末に保存されているデータのみ保管できます。
- 各フォルダ内のシークレットフォルダに保管できるデータの最大件数は次のとおりです。

| マイピクチャ | ｉモーション |
|---|---|
| 約250件（約6Mバイト） | 約10件（約10Mバイト） |

※ 1件あたりのデータ容量によって最大件数まで登録できない場合があります。

<例：マイピクチャの画像をシークレットフォルダに保管する場合>

**1 シークレットモードまたはシークレット専用モードにする→P.130**

**2 画像一覧画面（P.332）▶[十字キー]で画像の囲み枠を移動▶[MENU]［サブメニュー］▶「シークレットに保管」**

**おしらせ**

◆シークレットフォルダは、FOMA端末にあらかじめ用意されています。シークレットフォルダの追加や削除、フォルダ名の変更はできません。

<デスクトップアイコン>

◆デスクトップアイコンとして貼り付けた画像、動画、ｉモーションをシークレットフォルダに保管すると、デスクトップアイコンを選択しても表示されなくなります。

### ● シークレットフォルダのサブメニューについて

シークレットフォルダでは、フォルダやフォルダ内のデータに対して、行える機能は制限されています。フォルダ一覧画面、データ一覧画面、データ詳細画面の各画面で操作できる機能は以下のとおりです。
「シークレットから出す」については「シークレットフォルダのデータを通常のデータに戻す」（P.133）をご覧ください。
なお、シークレット設定されたメールフォルダやフォルダ内のメールに対して行える機能は、通常のユーザ作成フォルダと同じです。

■フォルダ一覧画面でシークレットフォルダが反転しているときのサブメニュー

| マイピクチャ（P.373） | ｉモーション（P.373） |
|---|---|
| フォルダ追加<br>赤外線全件送信※<br>フォルダ内全削除<br>保存容量確認 | フォルダ追加<br>赤外線全件送信※<br>保存容量確認 |

※ シークレットフォルダ内のデータは対象となりません。

■データ一覧画面のサブメニュー

| マイピクチャ（P.335） | ｉモーション（P.345） |
|---|---|
| ピクチャ情報<br>保存容量確認<br>削除<br>シークレットから出す | ｉモーション情報<br>保存容量確認<br>削除<br>シークレットから出す |

■データ詳細表示画面のサブメニュー

| マイピクチャ（P.335） | ｉモーション（P.347） |
|---|---|
| ピクチャ情報<br>表示サイズ設定<br>削除<br>リトライ | 通常再生<br>チャプター一覧※1<br>スロー再生<br>早見再生（1.25倍速）<br>早見再生（2倍速）<br>高速再生<br>停止<br>再生位置選択<br>ｉモーション情報<br>表示サイズ設定<br>全画面モード切替※2<br>サウンドエフェクト |

※1 チャプターがあるｉモーション詳細画面でのみ利用できます。
※2 「画面縦横自動切替」（P.119）を「OFF」に設定しているときのみ利用できます。

## メールのフォルダにシークレットを設定する

受信BOX内、送信BOX内のユーザ作成フォルダにシークレットを設定します。

**1 受信BOX／送信BOXフォルダ一覧画面（P.172）▶シークレット設定するフォルダを反転▶[MENU]［サブメニュー］▶「フォルダ操作」▶「シークレット設定」**

**おしらせ**

◆お買い上げ時にすでにあるフォルダ(メールや送信BOXなど)には、シークレットを設定できません。
◆シークレット設定されたフォルダ、シークレット設定されたフォルダ内のメールは、シークレットモードまたはシークレット専用モードでのみ表示されます。
◆シークレット設定されたフォルダへは、自動振分けを設定することができます。
「自動振分けを設定する」→P.176
◆シークレット設定されたフォルダをデスクトップアイコンとして貼り付けた場合、シークレットモードまたはシークレット専用モードでのみデスクトップアイコンが表示されます。また、すでに貼り付けてある通常のフォルダをシークレット設定に変更した場合も同様です。

### シークレットフォルダのデータを通常のデータに戻す

メール以外のシークレットデータを通常のデータに戻すにはシークレットフォルダから別のフォルダに移動します。
<例:マイピクチャのシークレットフォルダの画像を通常のデータに戻す場合>

**1 シークレットモードまたはシークレット専用モードにする→P.130**

**2 フォルダ一覧画面(P.332)▶「シークレット」▶[◎]で画像囲み枠を移動▶[MENU][サブメニュー]▶「シークレットから出す」**

**3 保存するフォルダを選択**

### シークレット設定されたメールフォルダを通常のフォルダに戻す

**1 シークレットモードまたはシークレット専用モードにする→P.130**

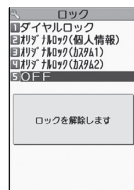
**2 受信BOX/送信BOXフォルダ一覧画面(P.172)▶シークレット設定されたフォルダを反転▶[MENU][サブメニュー]▶「フォルダ操作」▶「シークレット解除」**

## 個人情報の表示や電話・メールの操作をできないようにする

オリジナルロック

メールや電話帳などの個人情報を利用する機能にロックをかけて、ほかの人にそれらの情報を見られたり、不正に書き換えられたりすることを防ぎます。また、音声電話やテレビ電話の発着信を制限したり、iモードメールやSMSの送信を制限します。
- あらかじめオリジナルロック(個人情報)の設定が用意されています。また、オリジナルロック(カスタム1)、(カスタム2)は、ロック対象の機能・データを個別に登録できますので、用途・目的に応じて使い分けることができます。
- ロックは電源を切っても解除されません。
- オリジナルロックの対象となる機能や項目、データは別表1(P.135)のとおりです。各グループごと、項目ごとにロック対象とするかどうかを設定(カスタマイズ)できます。→P.134

### オリジナルロックを有効にする

**1 [MENU]▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「ロック」▶端末暗証番号を入力**

ロック機能選択画面

**2 オリジナルロック(個人情報)~(カスタム2)から選択**

ロックが有効になり、ロック対象の機能やデータにロックがかかります。
画面には「[アイコン]」が表示されます。
ほかのロック機能が同時に設定されているときのアイコンの表示について→P.30

■ **タイトルを編集する場合**
▶オリジナルロック(カスタム1)または(カスタム2)を反転▶[MENU][サブメニュー]▶「タイトル編集」▶タイトルを入力

■ **オリジナルロックを解除する場合**
▶「OFF」

## ● オリジナルロック設定中の操作について

オリジナルロック設定中にロック対象の機能やデータを利用しようとすると、端末暗証番号の入力が求められます。

- 端末暗証番号を入力すると一時的にロックが無効になり、ロック対象の機能やデータを利用できるようになります（「発信・メール送信」と「着信・メール受信表示」の機能は一時解除して利用することはできません）。起動中の機能を終了して待受画面に戻ると、再度ロックが有効になります。

<例：オリジナルロック設定中にｉモードメールを閲覧する場合>

**1 待受画面表示中▶✉**

**2 端末暗証番号を入力**

オリジナルロックが一時的に解除され、メールメニューが表示されます。

**3 ｉモードメールを読む**

**4 メールメニューを終了し、待受画面に戻る**

オリジナルロックが有効になり、画面に「」が表示されます。

## ロックする機能やデータをカスタマイズする

- たとえば「電話帳だけをロックする」「電話とメール発信だけを制限したい」といった設定を個別に登録できますので用途・目的に応じて使い分けることができます。
- ロック対象の設定（カスタマイズ）は、別表1（P.135）のようにグループ、機能ごとに行います。

**1 ロック機能選択画面（P.133）▶オリジナルロック（カスタム1）または（カスタム2）を反転▶📷［詳細］**

ロックの設定内容が表示されます。

ロック対象になっている場合は「」が付いて表示されます。

オリジナルロック(カスタム1)
【メール・iモード・iアプリ】
メール
ブログ・メールメンバー
iモード
アプリ
【データBOX】
マイピクチャ
ミュージック
Music&Videoチャネル
iモーション／ムービー
メロディ
マイドキュメント
きせかえツール

ロック状態一覧画面

■ 表示された内容でロックする場合

▶■［確定］

**2 📷［編集］**

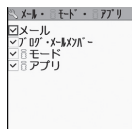
グループ内のいずれかの項目がロック対象になっている場合は「」が、すべての項目がロック対象になっている場合は「ALL」が付いて表示されます。

グループ一覧画面

**3 設定変更したいグループを選択**

**4 ◎で□（チェックボックス）を選択▶📷［完了］**

チェックを付けた（☑にした）項目が、ロック対象となります。対象外にしたい項目はチェックを外します。

- MENU［サブメニュー］から「全選択／全選択解除」ができます。

機能一覧画面

**5 設定変更が終わったらCLR▶■［確定］**

■［別表1］オリジナルロックの対象となる機能やデータについて

| グループ | 機能 | ロック中の動作／注意事項 |
|---|---|---|
| メール・ｉモード・ｉアプリ | メール | メールの起動をロックします。<br>●エリアメールの内容表示はできます。<br>●FOMA端末を閉じた状態で▼［☼］を押してもメール本文の読み上げはできません。 |
| | ブログ・メールメンバー | ブログ・メールメンバーの起動をロックします。 |
| | ｉモード | ｉモード機能（ｉモードブラウザやフルブラウザ、ｉチャネル、Bookmarkなど）の起動をロックします。 |
| | ｉアプリ | ｉアプリ機能の起動、ICカード一覧の表示、ｉウィジェット画面の表示をロックします。<br>●ICカード機能はロックされません。<br>●ｉアプリ待受画面を設定していると、ロック中はｉアプリ待受画面は表示されません。 |
| データBOX | マイピクチャ、ミュージック、Music&Videoチャネル、ｉモーション／ムービー、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電、ワンセグ録画データ、ドキュメントビューア、SDその他ファイル | 各機能の起動をロックします。<br>●ほかの機能からもデータを呼び出せません。<br>●プリインストール以外のデータを着信音や着信画面などに設定していると、ロック中はお買い上げ時の設定で動作します（待受画面に設定している画像やｉモーションは、ロック中も待受画面に表示されます）。<br>●「キャラ電」がロック対象になっている場合、ロック中にテレビ電話でキャラ電は表示されず、「内蔵」の代替画像が送信されます。<br>また、「代替画像選択」（P.85）で「自作」を設定しているときに、「マイピクチャ」がロック対象になっていると「内蔵」の代替画像が送信されます。<br>●ロック中でもMusic&Videoチャネルの番組はダウンロードします。<br>●「マチキャラ」がロック対象になっている場合でも待受画面のマチキャラは表示されます。 |
| 便利ツール・その他 | カメラ、バーコードリーダー、おしゃべり機能、ｉコンシェル | 各機能の起動をロックします。 |
| | アラーム、スケジュール／メモ | 各機能の起動をロックします。<br>●ロック中はアラーム通知を行わず「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが表示されます。 |
| | GPS | GPS機能の起動をロックします。<br>●ドコモの「イマドコサーチ」などの位置提供サービスを利用した相手からの要求による位置提供はできます。 |
| | トルカ | トルカフォルダ一覧画面の表示をロックします。<br>●ロック中でも読み取り機からトルカを取得できます。 |
| 電話機能・プロフィール | 電話帳／直デン | 電話帳や直デンの起動をロックします（電話帳参照などあらゆる機能に影響があります）。<br>●ロック中は発着信履歴やメール一覧画面などでも、登録されている名前は表示されません。電話番号やメールアドレスが表示されます。<br>●「着もじ」の「メッセージ表示設定」が「電話帳登録番号のみ」に設定されていると、着もじは表示されません。<br>●「着信拒否設定」の「登録外着信拒否」と同時に設定することはできません。<br>●「指定着信拒否」「指定着信許可」「指定転送でんわ」「指定留守番電話」の設定は無効になります。<br>●ロック中はFOMA端末を閉じた状態で▼［☼］を押しても、不在着信や新着メールなどの発信者名の読み上げはできません。 |

| グループ | 機能 | ロック中の動作／注意事項 |
| --- | --- | --- |
| 電話機能・プロフィール | 発信履歴 | 「発信履歴」「リダイヤル」「送信アドレス一覧」の起動をロックします。 |
| | 着信履歴 | 「着信履歴」「受信アドレス一覧」の起動をロックします。<br>●ロック中はFOMA端末を閉じた状態で▼［☼］を押しても、不在着信の確認はできません。 |
| | メモの再生／消去<br>テレビ電話メモの再生／消去 | 各機能の起動をロックします（伝言メモを設定することはできます）。<br>●どちらかの機能をロックしていると、FOMA端末を閉じた状態で、▼［☼］を押しても、「伝言メモあり」などの確認はできません。 |
| | 待受中音声メモ<br>通話中音声メモ | 各機能の起動をロックします。<br>●メモの再生／消去はロックされません（「メモの再生／消去」にロックを設定してください）。 |
| | 通話料金通知 | 設定した上限料金を超えても待受画面やアラームなどで通知しません。<br>●ロックを解除すると、「通話料金通知」のデスクトップアイコンが表示されます。 |
| | 着もじ | 着もじの編集や設定、着もじ送信時の「メッセージ選択」「送信メッセージ履歴」の機能をロックし、着もじは表示されません。<br>●着もじを送信したり受信することはできます。 |
| | プロフィール | プロフィールの起動をロックします。 |
| 発信・メール送信 | ダイヤル発信 | 電話番号の直接ダイヤルによる発信および電話帳未登録の相手へのリダイヤル／発信履歴／着信履歴からの発信をロックします。<br>●電話帳の新規登録や編集などの操作はできません（ドコモUIMカード、microSDカード含む）。<br>●緊急通報番号（110番、119番、118番）には音声電話をかけることができます。 |
| | メールアドレス直接入力 | 宛先の直接入力によるｉモードメールやSMSの送信をロックします（電話帳に登録されていない相手へのリダイヤル／発信履歴／送信アドレス一覧／着信履歴／受信アドレス一覧からのメールやSMSの作成を禁止します）。<br>●電話帳の新規登録や編集などの操作はできません（ドコモUIMカード、microSDカード含む）。<br>●保存 BOX 内のメールは宛先が削除され、さらに題名、本文ともに未入力のメールはメール自体が削除されます。 |
| | メール送信 | ｉモードメール、SMSの送信の起動をロックします。 |
| 着信・メール受信表示 | 着信 | 電話やパケット通信の着信を拒否します（不在着信履歴として記憶されます）。<br>●ロックを解除すると「不在着信あり」のデスクトップアイコンが表示されます。 |
| | メール／メッセージ受信表示 | メッセージR／F、ｉモードメール、SMS、ｉコンシェルのインフォメーションの自動受信はできますが、受信中画面および受信結果画面は表示されません。着信音の鳴動など受信動作を行わず、受信をお知らせしません。<br>●エリアメールの自動受信と内容表示はできます。<br>●ロックを解除すると「新着メール」などのデスクトップアイコンが表示されます。 |

※ ロック対象となるデータを「デスクトップアイコン」として待受画面に貼り付けている場合、ロック中はそのデスクトップアイコンは表示されません。

# ボタン操作を自動的にロックする

**自動キーロック**

FOMA端末を閉じたときや、電源を切ったとき、FOMA端末を何も操作しない状態が一定時間経ったときに、ボタン操作できないように自動的にロックをかけます。

- 自動キーロック時に着信イルミネーションが水色で点滅します。
- 自動キーロックは電源を切っても解除されません。
- 「クローズドロック設定」「無操作ロック設定」のどちらかを「OFF」以外に設定すると、電源を切ったときに自動キーロックがかかります。

## 自動キーロックを設定する

**1 MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「自動キーロック」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択**

**クローズドロック設定**…FOMA端末を閉じてからロックがかかるまでの時間を、「OFF、0秒、30秒後ON、1分後ON、5分後ON、15分後ON、30分後ON」から選択します。

たとえば、「5分後ON」に設定するとFOMA端末を閉じてから5分経過すると自動的にロックがかかります。「0秒」に設定するとFOMA端末を閉じると同時にロックがかかります。

「OFF」を選択するとタイマーは無効になり、FOMA端末を閉じても、ロックはかかりません。

タイマー動作中にFOMA端末を開くと、タイマーは無効になります。

**無操作ロック設定**…「OFF、30秒後ON、1分後ON、5分後ON、15分後ON、30分後ON」から選択します。

たとえば、「5分後ON」に設定するとFOMA端末を何も操作しない状態が5分間続くと自動的にロックがかかります。

「OFF」を選択するとタイマーは無効になり、ロックはかかりません。

**2 📷［完了］**

### ● 自動キーロック中の動作について

- 自動キーロック中はディスプレイに「🔒」と「自動ｷｰﾛｯｸ」などと表示されます。

- 自動キーロック中は、音声電話、テレビ電話の着信に対する応答、電源を入れる／切る、ICカード認証機能の利用、サイドボタンによる背面ディスプレイ表示の操作を除くすべてのボタン操作ができなくなります。
- 自動キーロック中にメッセージR／F、ｉモードメール、SMSの着信動作は行われますが、内容の閲覧やメール読み上げ機能の利用はできません。
  - エリアメールの自動受信と内容表示はできます。
  - ｉコンシェルのインフォメーションを受信したときはポップアップメッセージが表示されますが選択はできません。
- 自動キーロック中でも、「アラーム」「スケジュール」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームは通知されます。
- 電話着信時やアラーム通知時など、自動キーロック中でも操作可能な場合はファンクション表示の下に「🔓」が表示されます。

**おしらせ**

◆自動キーロック中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には直接ダイヤルして音声電話をかけることができます。

◆「クローズドロック設定」と「無操作ロック設定」のタイマーを両方設定した場合は、先にどちらかのタイマーが満了した時点で自動キーロックがかかります。

◆ｉアプリのソフト起動中や、GPS測位動作中、位置提供中のときは、それぞれの画面を表示したままロックがかかります。ｉアプリのソフト起動中にロックがかかった場合は、ロックを一時解除することができます。→P.138

◆通話中、メロディ／ｉモーション／ミュージックの再生中、カメラ起動中などロックがかからない場合もあります。

◆自動キーロック中でも、オートGPSが動作します。オートGPSは一時停止することができます。→P.326

● 自動キーロックを一時解除する

**1 自動キーロック中の画面で端末暗証番号を入力▶■**

■ ICカード認証機能を利用して一時解除する場合
→P.138

## サイドボタンを操作できないようにする

サイドボタン設定

FOMA端末を閉じたときに、▲［マナー］、▼［☼］が効かなくなるように設定します。かばんの中での誤動作が防止できます。

**1 MENU▶＊（1秒以上）**

「閉じた時無効」に設定されて「KEY OFF」が表示されます。

■ 解除するとき
▶MENU▶＊（1秒以上）

## ICカード認証機能を利用する

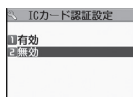
ICカード認証設定

FeliCa に対応した非接触ICカード（外部ICカード）に重ね合わせるだけで、自動キーロックを解除できるようにします。

● ICカードロック設定中でも、ICカード認証機能を利用することができます。

### ICカード認証機能を有効にする

非接触ICカードを登録してユーザ認証ができるように設定します。

**1 MENU▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「ICカード認証設定」▶端末暗証番号を入力**

ICカード認証設定
1 有効
2 無効

ICカード認証設定画面（サブメニュー→P.138）

**2 「有効」▶「OK」**

■ 登録済みの非接触ICカードを有効にする場合
▶「有効」

■ ICカード認証機能を無効にする場合
▶「無効」▶「YES」または「NO」

**3 非接触ICカードをFOMA端末のマークに重ね合わせる**

登録されると「」が消えます。

### サブメニュー

❖ICカード認証設定画面（P.138）

**外部ICカード登録**…非接触ICカードのデータを2枚まで登録できます。2枚登録済みの場合は、古いデータを削除して登録します。
ICカード認証設定画面で📷［登録］を押しても登録できます。

**外部ICカード削除**…データを削除して未登録にします。

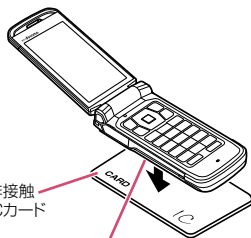
### ICカード認証機能を利用する

**1 自動キーロック中にFOMA端末を開く**

ディスプレイに「」が表示されて約10秒間、ユーザ認証が可能な状態になります。待受画面表示中に📷［IC認証］を押しても同じ状態になります。

■ FOMA端末を閉じたまま解除したいとき
▶▼［☼］を1秒以上押すと約10秒間、ユーザ認証が可能な状態になります。

**2 非接触ICカードをFOMA端末のマークに重ね合わせる**

ユーザ認証が正しく行われるとロックが解除されます。

※ イラストのように重ね合わせてください。ICカードによっては認識しにくい場合があります。そのときは上下左右にずらしてください。

**おしらせ**

◆FeliCa に対応した非接触カードでも、カードによっては本機能を利用できない場合があります。
◆ICカード認証機能を利用するときは、非接触ICカードとFOMA端末を手に持って行ってください。
◆認証に5回連続して失敗するとICカード認証機能は使用できなくなり、認証は端末暗証番号のみになります。その後、端末暗証番号による認証が正常に行われた場合は、再度ICカード認証機能を利用できるようになります。

## メールを無断で表示できないようにする

**BOXロック／フォルダロック**

ほかの人にメールの内容を無断で見られないように受信BOX、送信BOX、保存BOXやそれぞれのフォルダにロックをかけます。ロックをかけたBOXやフォルダは、端末暗証番号を入力しないと開けなくなります。

● 端末暗証番号を入力するとメールのタスクを終了させるまで有効ですので、その間はロックがかかっていても端末暗証番号を入力せずに開くことができます。
● ロックをかけたBOXには、「」などのアイコンが表示されます。
● ロックをかけたフォルダは、フォルダ一覧画面で先頭に表示されるアイコンが「」「」などの表示になります。
● BOXやフォルダにロックを設定すると、ロック対象のメールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。
● 送受信BOXまたは送受信BOX内のフォルダのみにロックをかけることはできません。受信BOX、送信BOXまたはそれぞれのBOX内のフォルダにロックをかけると自動的にロックがかかります。
● メッセージR、メッセージFのフォルダにはロックがかけられません。

### BOX別にロックを設定する

**1** ▶「メール設定」▶「BOXロック」▶端末暗証番号を入力

**2** で□（チェックボックス）を選択

ロックを解除するには、チェックボックスのチェックを外します。

**3** ［完了］

### フォルダ別にロックを設定する

**1** メールフォルダ一覧画面（P.171、172）▶ロックを設定するフォルダを反転▶［ロック設定］▶端末暗証番号を入力▶「YES」

■ 解除する場合

▶メールフォルダ一覧画面▶ロックを解除するフォルダを反転▶［ロック解除］▶端末暗証番号入力▶「YES」

## 指定した電話番号の着信や発信を制限する

**個別発着信動作選択**

私用電話を防止したり、迷惑電話を防止するために、電話帳に登録されている電話番号ごとに電話の発信や着信を制限します。

● 電話番号はそれぞれ20件まで指定できます。
● ドコモUIMカードの電話帳には設定できません。
● 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「着信拒否設定」もあわせて設定することをおすすめします。
● 同じ電話番号に対して指定着信拒否と指定着信許可、または指定転送でんわと指定留守番電話を同時に設定することはできません。
● 指定した電話帳の電話番号を変更したり削除すると、個別発着信動作選択の各機能は解除されます（ただし、「指定発信制限」を設定した場合は電話帳の編集や削除ができません）。

## 電話番号に発信／着信制限機能を設定する

**1 電話帳詳細画面（P.94）▶MENU［サブメニュー］▶「個別発着信動作選択」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択**

**指定発信制限**…指定した電話番号以外への電話をかけられないようにします。指定した電話番号に電話をかけるときは、電話帳から発信します。

**指定着信拒否**…指定した電話番号からの電話を受けないようにします。

**指定着信許可**…指定した電話番号からの電話だけを受けるようにします。

**指定転送でんわ**…指定した電話番号からの電話を、転送でんわサービスの開始、停止の設定にかかわらず、自動的に転送するようにします。

**指定留守番電話**…指定した電話番号からの電話を、留守番電話サービスの開始、停止の設定にかかわらず、留守番電話サービスセンターに自動的に接続するようにします。

**■ 設定されている機能を解除する場合**

▶設定されている機能を選択

**■ 複数の電話番号に設定したい場合**

▶CLRを2回押して電話帳一覧画面に戻る▶ 目的の電話帳を選択▶操作1を行う

指定発信制限を設定したあとに終話キーを押して待受画面に戻ると、個別発着信動作選択が続けて登録できなくなります。追加設定をする場合は、すでに設定されている電話番号の指定発信制限を解除し、解除した電話番号も含めてもう一度設定し直してください。

### ● 指定発信制限を設定すると

- 指定した電話番号を含むすべてのダイヤル発信、着信履歴からの発信ができなくなります。また、指定した電話番号以外の呼び出しと、電話帳の登録、修正、削除、FOMA端末とドコモUIMカード間でのコピー、「UIM（FOMA）カード操作」での電話帳の操作もできません。
- 設定前に記録されていたリダイヤル／発信履歴、送信アドレス一覧は削除されます。ただし、指定発信制限の設定後に記録されたリダイヤル／発信履歴からの発信や、送信アドレス一覧からのメール送信は行えます。

**おしらせ**

<指定発信制限>

◆指定発信制限設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には音声電話をかけることができます。

<指定着信拒否><指定着信許可>

◆ｉモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

◆指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

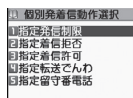
◆指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合や「圏外」時、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になりますのでご注意ください。

<指定転送でんわ><指定留守番電話>

◆指定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから転送先に転送または留守番電話サービスセンターに接続され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

◆転送先が未設定の場合、「転送でんわサービス」または「留守番電話サービス」が未契約の場合は、指定した電話番号からかかってきた電話は不在着信となります。

## 個別発着信動作選択の設定状況を確認する

**1 電話帳一覧画面（P.93）▶MENU［サブメニュー］▶「個別発着信動作選択」▶端末暗証番号を入力**

個別発着信動作選択画面（サブメニュー→P.140）

## サブメニュー

### ❖個別発着信動作選択画面（P.140）

**設定確認**…機能が設定されている電話帳の一覧画面が表示されます。

**設定解除**…設定が解除されます。

## 電話帳未登録の電話や発信者番号のわからない電話を受けない

**着信拒否設定**

電話番号を通知してこない音声電話やテレビ電話の着信許可／拒否を、非通知理由ごとに設定します。
「登録外着信拒否」はFOMA端末およびドコモUIMカードの電話帳に登録されていない電話番号からの着信を許可するか拒否するかを設定します。

- ●「登録外着信拒否」は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知設定」もあわせて設定することをおすすめします。
- ●「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」が「ON」に設定されている場合は、「登録外着信拒否」を設定できません。

### 1 MENU ▶「本体設定」▶「ロック・セキュリティ」▶「着信拒否設定」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

■ 電話機能から起動する場合
▶MENU▶「電話機能」▶「発着信·通話設定」▶「着信拒否設定」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

**登録外着信拒否**…FOMA端末およびドコモUIMカードの電話帳に登録されていない電話番号からの着信を許可するか拒否するかを設定します。着信音、着信画面は設定できません。

**非通知設定**…発信者側の設定により発信者番号を通知しないで発信してきた場合の着信許可、拒否を設定します。

**公衆電話**…公衆電話などから発信してきた場合の着信許可、拒否を設定します。

**通知不可能**…海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信してきた場合の着信許可、拒否を設定します。
経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります。

### 2「許可」または「拒否」

**■「許可」を選択した場合**
▶「着信音」または「着信画面」

- •「着信音」は「通常着信音と同じ、メロディ、iモーション、ミュージック、おしゃべり、OFF」から選択します（「通常着信音と同じ」を選択したときは、「着信音選択」の「電話」の設定で着信します）。
- •「着信画面」は「通常着信画面と同じ、マイピクチャ、iモーション」から選択します（「通常着信画面と同じ」を選択したときは、「各種画面設定」の「電話着信」の設定で着信します）。

**■「拒否」を選択した場合**
着信を拒否し、相手に話中音が流れます。

**おしらせ**

◆「登録外着信拒否」を「拒否」に設定している場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときや「圏外」時、電源が入っていない場合は、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になりますのでご注意ください。

◆本機能で選択する着信音や着信画像は非通知の音声電話の設定です。非通知のテレビ電話がかかってきたときは、「着信音選択」の「テレビ電話」や「各種画面設定」の「テレビ電話着信」と同じになります。

◆「公衆電話」「非通知設定」「通知不可能」を「拒否」に設定しているときに非通知の電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合や「圏外」時、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。

◆iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

## 電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

呼出時間表示設定

FOMA端末電話帳またはドコモUIMカードの電話帳に登録されていない電話番号から着信があった場合、呼出動作が開始されるまでの時間を設定します(無音時間設定)。呼出動作が短い迷惑電話などに対し、着信履歴からの誤った発信を防ぐことができます。

- 非通知の着信があった場合や通話中に着信があった場合にも無音時間設定は動作します。
- 「着信拒否設定」の「登録外着信拒否」が「拒否」に設定されている場合は、「無音時間設定」を設定できません。

**1** MENU▶「電話機能」▶「発着信・通話設定」▶「着信詳細設定」▶「呼出時間表示設定」▶以下の項目から選択

無音時間設定…呼出動作を開始するまでの時間を入力できます。

- ON…音声電話、テレビ電話の呼出動作を開始するまでの時間(01～99秒)を入力できます。
- OFF…呼出動作を開始するまでの時間を0秒に設定します。

時間内不在着信表示…呼出動作を開始しなかった着信の不在着信履歴やデスクトップアイコンについて設定します。

**おしらせ**

◆シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、「無音時間設定」を0秒として電話番号のみを表示します。

◆無音時間が伝言メモの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を無音時間設定よりも長く設定してください。留守番電話サービス、転送でんわサービス、オート着信設定の呼出時間でも同様です。

## 発信や着信ができないようにする

セルフモード

音声電話やテレビ電話の発着信、iモードの利用、メールの送受信などができないように設定します。音声電話やテレビ電話の着信などを気にしないでFOMA端末を操作したいときに便利です。

- セルフモード設定中でも、緊急通報番号(110番、119番、118番)には音声電話をかけることができます。緊急通報番号に音声電話をかけると、セルフモードは解除されます。

**1** MENU▶「本体設定」▶「その他設定」▶「セルフモード」▶「YES」

セルフモードが設定されて「self」が表示されます。

■ セルフモードを解除する場合

▶再度操作1を行う

セルフモードが解除されて「self」の表示が消えます。

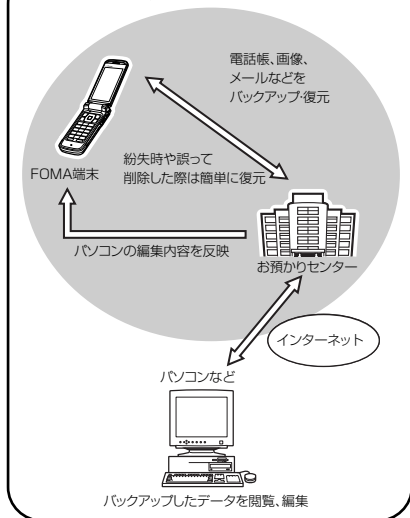
### ● セルフモードを設定すると

- 音声電話やテレビ電話の着信は着信履歴には記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されません。
- 送られてきたメッセージR／FやiモードメールはiモードセンターでSMSはSMSセンターでお預かりします。
- 音声電話やテレビ電話をかけてきた相手には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスやメッセージで通知します。「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」をご利用の場合は、FOMA端末の電源を切っているときと同じサービスをご利用になれます。
- 赤外線通信機能／iC通信機能によるデータの送受信、パソコンなどと接続してのパケット通信、64Kデータ通信、ICカード認証機能によるユーザ認証、Bluetooth通信もできません。ただし、USBケーブル接続によるデータ転送(OBEX™通信)や、マークを読み取り機にかざしてICカード内のデータの読み書きをすることはできます。

# ケータイデータお預かりサービスを利用する

ケータイデータお預かりサービス

FOMA端末に保存されている電話帳・画像・ｉモーション・メール・Bookmark・スケジュール・メモ・トルカ・現在地通知先・メロディ・メール振り分けなどの設定情報（以下「端末データ」といいます）を、ドコモのお預かりセンターにバックアップすることができ、万が一の紛失時や誤って削除した際などに復元できるサービスです。
また、メールアドレスを変更したことを一斉通知できます。パソコン（My docomo）があれば、さらに便利にご利用いただけます。

- 電話帳、画像（「自動お預かり」フォルダ内）、Bookmark、メモ、スケジュール、トルカ、メール振り分けなどの設定情報は、自動更新機能※により、定期的に自動でバックアップできます（※端末データにより、自動更新の初期設定状態（自動更新する／しない）が異なりますので、MENU▶「便利ツール」▶「ケータイデータお預かりサービス」▶「詳細設定／通信履歴」▶「自動更新設定」よりご確認・変更ください）。
- 自動更新機能をご利用になる場合、パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- 「WORLD WING」ご契約の場合、海外でも利用することができます。
  ただし、パケット通信料が日本国内よりも高額になる恐れがありますのでご注意ください（お客様がｉモードパケット定額サービスをご契約されていても、国際ローミング利用中におけるFOMAパケット通信料は、ｉモードパケット定額サービスの対象外となります）。
- ケータイデータお預かりサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- ケータイデータお預かりサービスはお申し込みが必要な有料のサービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

**おしらせ**

◆ドコモのお預かりセンターにバックアップできるデータは、著作権保護されていないデータのみです。

## 電話帳、Bookmark、スケジュール、メモ、トルカをお預かりセンターにバックアップ（更新）する

FOMA端末の電話帳、Bookmark、スケジュール、メモ、トルカをドコモのお預かりセンターにバックアップ（更新）します。

- ｉモードサービスエリア圏外などでは利用できません。

**1 MENU▶「便利ツール」▶「ケータイデータお預かりサービス」▶「電話帳等を更新」**

■ **電話帳内の画像送信について設定する場合**

▶「詳細設定／通信履歴」▶「電話帳画像送信設定」▶「ON」

- 電話帳に登録されている画像もお預かりセンターにバックアップされます。

■ **メモ内の画像送信について設定する場合**

▶「詳細設定／通信履歴」▶「メモ添付画像送信設定」▶「ON」

- メモに登録されている画像もお預かりセンターにバックアップされます。

■ 通信履歴を確認する場合
▶「詳細設定／通信履歴」▶「通信履歴確認」▶通信履歴項目を選択
電話帳だけでなく、FOMA端末とお預かりセンターとのすべての通信履歴が表示され、データの復元結果、復元された項目を確認できます。復元するデータを設定した場合は、復元に成功した項目のみ表示されます。

■ 通信履歴を削除する場合
▶「詳細設定／通信履歴」▶「通信履歴確認」▶通信履歴項目を反転▶MENU［サブメニュー］▶「1件削除」／「選択削除」／「全削除」

**2** で□（チェックボックス）を選択▶「実行」

**3** 端末暗証番号を入力
お預かりセンターに接続してデータのバックアップを開始します。

**4** ［完了］

おしらせ
<バックアップ（更新）>
◆データの更新ができなかった場合、「更新」のデスクトップアイコンでお知らせします。
◆ドコモUIMカードに登録されている電話帳はお預かりセンターにバックアップできません。
<通信履歴確認>
◆通信履歴は30件まで記憶できます。履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。
<自動更新設定>
◆電話帳などの自動更新時にほかの機能を起動していた場合、自動更新はされません。

## お預かりセンターのデータ確認やバックアップしたデータの復元を行う

お預かりセンターにバックアップしてあるデータの確認や、バックアップしてあるデータをFOMA端末に復元できます。また、お預かりセンターにバックアップした電話帳を誤って消去した場合などに備え、コピーの作成（うっかり防止機能）もできます。
FOMA端末のデータを削除すると、データの更新時にお預かりセンターのデータも同様に削除されますのでご注意ください。バックアップしてあるデータをFOMA端末に復元する場合は、以下の手順で行ってください。

**1** MENU▶「便利ツール」▶「ケータイデータお預かりサービス」▶「データ確認／ダウンロード」▶「YES」▶ｉモードパスワード入力▶「決定」▶復元するデータを選択▶「OK」

■ ｉモードから接続する場合
▶ｉ▶「マイページ」▶「マイメニュー／マイボックス」▶「ケータイデータお預かり」※▶「お預かりデータ確認」▶ｉモードパスワード入力▶「決定」▶復元するデータを選択▶「OK」
※ ｉコンシェルをご契約の場合は、「ケータイデータお預かり／ｉコンシェル」と表示されます。
約15秒後に復元が開始されますので、待受画面に戻してください。

おしらせ
<復元>
◆お預かりセンターにバックアップしている電話帳データをFOMA端末に復元すると、電話番号やメールに登録されているアイコンが「☎」や「✉」に置き換わることがあります。

## 画像、メール、スケジュール、メモ、トルカなどをお預かりセンターにバックアップする

FOMA端末に保存されている画像、ｉモーション、ｉモードメール／SMS、Bookmark、スケジュール、メモ、トルカ、現在地通知先、メロディをお預かりセンターにバックアップします。
<例：画像、ｉモーションをバックアップする場合>

**1** 画像一覧画面（P.332）、動画一覧画面（P.344）▶MENU［サブメニュー］▶「お預かりセンターに保存」▶画像、ｉモーションを選択▶［完了］▶■［確定］
画像、ｉモーションは最大30件選択できます。

**2** 端末暗証番号を入力▶「YES」
お預かりセンターに接続して画像、ｉモーションのバックアップを開始します。

**3** ［完了］

■ メールをバックアップする場合
メール一覧画面（P.171）のサブメニューから「データ交換／管理」を選択し、「お預かりセンターに保存」を選択します。
メールは最大30件選択できます。

■ Bookmarkをバックアップ（更新）する場合
Bookmarkフォルダー覧画面（P.204）のサブメニューから「お預かりセンター接続」を選択します。

■ トルカ、スケジュール、メモをバックアップ（更新）する場合
トルカフォルダー覧画面（P.310）、スケジュール画面（P.398）、スケジュール一覧画面（P.399）、スケジュール詳細画面（P.399）、メモ一覧画面（P.416）、メモ詳細画面（P.416）のサブメニューから「お預かりセンターに接続」を選択します。

■ 現在地通知先をバックアップする場合
現在地通知先登録画面（P.322）のサブメニューから「お預かりセンターに保存」を選択します。

■ メロディをバックアップする場合
メロディ一覧画面（P.356）のサブメニューから「移動／コピー」を選択し、「お預かりセンターに保存」を選択します。

**おしらせ**

＜メール＞
◆ドコモUIMカードに保存されているSMSはお預かりセンターにバックアップできません。
◆ｉモードメールに添付されているファイルは削除してバックアップされます。
◆FOMA端末外への出力が禁止されている画像が受信メールに挿入されている場合は、削除してバックアップされます。
◆「色分け」の設定はバックアップされません。

＜画像＞
◆1件あたりのファイルサイズが10Mバイトを超える画像、FOMA端末外への出力が禁止されている画像はバックアップできません。

## 設定情報をお預かりセンターにバックアップする

FOMA端末のメール振り分け設定、メールの文字サイズ、発着信履歴などの設定情報をお預かりセンターにバックアップします。バックアップした設定情報をダウンロードし、FOMA端末に設定することもできます。

**1** MENU▶「便利ツール」▶「ケータイデータお預かりサービス」▶「設定情報を更新」

**2**「設定情報のお預かり」を選択▶「実行」

■ お預かりセンターにバックアップされている設定情報をFOMA端末に設定する場合
▶「設定情報のダウンロード」▶「実行」

**3** 端末暗証番号を入力▶[完了]

## 自動お預かりフォルダ内の画像をお預かりセンターにバックアップする

自動お預かりフォルダに保存されている画像は、定期的に自動でお預かりセンターにバックアップされます。
■手動でお預かりセンターにバックアップする場合

**1** MENU▶「便利ツール」▶「ケータイデータお預かりサービス」▶「画像を更新」

**2** 端末暗証番号を入力▶「追加」▶[完了]

**おしらせ**

◆「自動お預かり」フォルダ内の画像は、自動更新設定に従い定期的にお預かりセンターへバックアップすることもできます。自動更新設定はケータイデータお預かりサイトからご利用いただけます。
◆自動バックアップをご利用の際送信データが大きくなり、パケット通信料が高額になる可能性があるため、ｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめします。
◆「お預かり済アイコンクリア」（P.336）を行うと、自動お預かりフォルダ内の著作権のある画像以外が、次回バックアップする時に、再度お預かりセンターへバックアップされます。アイコンについては「設定できる項目アイコン」（P.334）をご覧ください。

## ｉコンシェルでケータイデータお預かりサービスを利用する

ｉコンシェルの契約をしている場合は、ｉコンシェル画面からお預かりセンターに接続できます。
● ｉコンシェルについて→P.226

**1** MENU▶「ｉコンシェル」▶「設定」を選択▶「お預かりデータ確認／設定／更新」▶画面の表示に従って操作する

## 各種機能の設定を初期状態に戻す

**設定リセット**

各機能の設定をお買い上げ時の設定内容に戻します。

「端末初期化」と「設定リセット」は異なります。間違えないようにしてください。間違えて「端末初期化」を行うと、ご購入後に登録したデータもすべて削除されます。→P.146

- 設定リセットされる機能について、詳しくは「メニュー機能一覧」（P.474）をご覧ください。
- パソコンなどの外部機器と接続している場合、「USBモード」はお買い上げ時の設定内容に戻りません。

**1** MENU ▶「本体設定」▶「その他設定」▶「設定リセット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

**おしらせ**

◆「3G／GSM切替」は、ネットワークの状態によりお買い上げ時の設定内容に戻らない場合があります。

## FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻す

**端末初期化**

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

「端末初期化」を行うと、電話帳やメールなどの個人データ、ダウンロードした画像やメロディ、iアプリ、ウィジェットアプリ、PDFデータ、カメラで撮影した写真（静止画）や動画、各種履歴や情報など、お客様の大切なデータ、履歴、情報がすべて削除されます（保護されているデータも削除されます）。

- お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
- ドコモUIMカードやmicroSDカードに保存、登録、設定されているデータは削除されません。
- ネットワークに接続して設定する項目は初期化されません。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリやウィジェットアプリを削除した場合、端末初期化を行っても元に戻りません。
- 以下の場合、ｉアプリやウィジェットアプリは端末初期化を行うと削除されます。
  - お買い上げ時に登録されているｉアプリやウィジェットアプリをバージョンアップした場合
  - お買い上げ時に登録されているｉアプリやウィジェットアプリを一度削除して再度ダウンロードした場合
  - お買い上げ時に登録されているDCMXクレジットアプリ、モバイルSuica登録用ｉアプリ、マクドナルド トクするアプリ（削除されない場合もあります）。
- 2in1のモードにかかわらず、Aモード･Bモードのすべてのデータが初期化されます。
- お客様が編集したグループ名やフォルダ名などはお買い上げ時の状態に戻ります。
- シークレットデータ、シークレットフォルダのデータも削除されます。
- 「端末初期化」を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
- 「端末初期化」を行っているときは、電源を切らないでください。
- 端末初期化を行っているときは、ほかの機能を使用できません。また、音声電話、テレビ電話の着信やメールの受信などもできません。

「端末初期化」を行うと、FOMA端末はお買い上げ時の状態に戻ります。FOMA端末に登録した内容は、必要に応じてメモを取ったり、ドコモケータイdatalink（P.471）やmicroSDカードを利用して保管することをおすすめします。

**1** MENU ▶「本体設定」▶「その他設定」▶「端末初期化」▶端末暗証番号を入力

**2**「YES」▶「YES」

端末の初期化が開始されます。初期化が終了するまでに数分かかる場合があります。端末の初期化が終了すると、自動的に再起動したあと、初期設定画面が表示されます。

■ **端末初期化が正常に終了しなかった場合**

▶電源が入ったあとに「OK」

再度初期化が実行されます。

**おしらせ**

◆端末初期化を行った場合、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、CLRを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

◆パソコンを用いるデータ通信に関する設定は初期化されません。

◆おサイフケータイ対応ｉアプリとICカード内のデータは削除できない場合があります。

◆端末初期化を行うと「Welcome E★エブリスタ」のWelcomeメールが受信BOXに保存された状態になります。

## 遠隔操作でデータを初期化する

**遠隔初期化**

本機能の利用契約(ビジネスmoperaあんしんマネージャー)をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各種データ（本体／microSDカード／ドコモUIMカード内のメモリ）を初期化することができます。

**お問い合わせ先**

ドコモの法人向けサイト

docomo Business Online

パソコンから http://www.docomo.biz/

※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

## その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがありますのでご活用ください。

| 機能／サービス名称 | 目的 | 参照ページ |
|---|---|---|
| ICカードロック設定 | ICカード機能の不正使用を防止したい | P.308 |
| 迷惑電話ストップサービス | いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない | P.445 |
| 番号通知お願いサービス | 発信者番号を通知してこない電話を着信したくない | P.445 |
| FirstPass | 電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい<br>※ FirstPass対応サイトに限ります。 | P.218 |
| ソフトウェア更新 | 必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい | P.529 |
| スキャン機能 | 障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい | P.537 |
| メール選択受信 | 大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい | P.164 |
| 「iモード災害用伝言板」サービス | 『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。 | |
| メールアドレス変更 | | |
| 迷惑メール対策<br>●URL付きメール拒否設定<br>●受信／拒否設定<br>●かんたん設定<br>●iモード／spモードメール大量送信者からのメール受信制限<br>●SMS拒否設定<br>●未承諾広告※メール拒否<br>●メール設定確認 | | |
| メール機能停止／再開 | | |
| メールサイズ制限 | | |
| ケータイお探しサービス | | |
| イマドコかんたんサーチ | | |

**おしらせ**

◆見知らぬ着信履歴には、おかけ直ししないようご注意ください。とくに、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしてのおかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。

<迷惑電話防止機能の優先順位>

◆迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は以下のとおりです。

① 迷惑電話ストップサービス

②「着信拒否設定」の「登録外着信拒否」または「呼出時間表示設定」／「着信拒否設定」の「非通知設定」／「指定着信拒否」